

リビングプレス Living Press



雨続きでも安心! 部屋干しのお悩み解決法

台風や長雨などから、洗濯物を部屋干しすることが多くなる季節。部屋干し臭が気になるという人も多いのでは？
いやな臭いの原因は「モラクセラ菌」という雑菌の一種。湿気を好み、洗濯物に水分を含む状態が長く続くと、落としきれなかった皮脂汚れや洗剤の残りかすをエサにして繁殖します。雑菌の増殖を抑える工夫を取り入れて、部屋干しのお悩みを解決しましょう。

Point
1

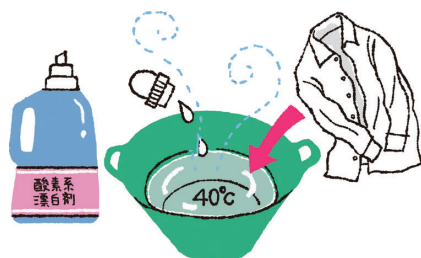
除菌対策は洗濯前から! 洗濯槽に菌を持ち込まない

洗濯機の中は風通しが悪く、雑菌が発生しやすい環境のため、着用後の衣類等は直接、洗濯機に入れずに**通気性のよい洗濯カゴ**などに入れておきましょう。その際、**衣類用の除菌・消臭スプレー**をしておく、雑菌の繁殖を抑えられ効果的です。また、日頃から洗濯機を清潔にしておくことも大切です。使用後は、**ふたを開けた状態で洗濯槽を乾燥**させましょう。糸くずフィルターにたまったゴミも、こまめに捨ててください。さらに、**専用の洗濯槽クリーナー**を使って月に1度くらいの目安で掃除をするといいでしょ。

Point
2

洗濯時のほんのひと手間で 除菌・消臭効果がアップ

洗濯機本来の性能を発揮させるため、1度に洗う洗濯物の量は**洗濯槽の7割程度**に抑えましょう。衣類を**裏返し**にすると汚れが落ちやすく、また生地への痛みをやわらげることができます。手軽にいやな臭いを防ぐには、**柔軟剤**を使うのがおすすめ。抗菌作用や消臭効果のほか、速乾性も期待できます。通常の洗濯では落ちない頑固な臭いには、洗濯前につけ置き洗いをしておくとう�효果的です。また、**脱水が始まる前に洗濯機を止めて乾いたタオルを入れる**と、ほかの濡れた洗濯物の水分を吸収して、より高い脱水効果が期待できます。



洗面器や浴槽にためた約40℃のお湯に酸素系漂白剤を溶かし(※)、衣類等を30分つけておく。その後は、通常どおりに洗濯機で洗うだけ。
※規定量を守り、衣類の洗濯表示を確認してください。

Point
3

洗濯後の部屋干しの鉄則は 湿度を下げる、風通しをよくする

干す環境・場所

洗濯後は**速やかに干すこと**、**短い時間で乾燥**させることが肝要です。コツは、**エアコンの除湿機能**を使い、**サーキュレーター**や**扇風機**を併用して空気を循環させること。さらに、**洗濯物の下にくしゃくしゃにした新聞紙**を敷いておくと、新聞紙が湿気や臭いの分子を吸水してく



れます。乾きが早い場所は、**部屋の中央部で天井近く**。室内用物干しや、部屋と部屋の間の鴨居などを活用しましょう。干す場所がないからと、カーテンレールに干すのはNG。カビやレールが曲がる原因になるので避けましょう。

洗濯物に風がまんべんなく当たるよう、首振り運転にするとよい。冬も暖房だけでは室内の水分量は減らないため、サーキュレーターなどを併用する。

干し方

タオルやシャツは、**干す前に5回以上振ると**、繊維がほぐれて乾きやすくなります。布の厚い衣類は、**裏返しにして干す**と、縫い目やポケットなどに風が当たり、早く乾かすことができます。洗濯物と洗濯物の間に空気の通り道をつくるため、**両端に長いもの、真ん中に短いものを吊るし**、横から見たときに**アーチ状になるように干す**といいでしょ。バスタオルやズボンは、ピンチハンガーの外側のみを使用する**「囲み干し」**が乾きやすくおすすめです。



できるだけ洗濯物の表面積が外気に触れるようにして、空気の通り道をつくるのがコツ。

